

2008年12月期(第30期) 決算説明資料

2009年2月13日

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2008年12月期業績概要(1)

<経済の動向>

① わが国経済は概ね順調に推移

- ・自動車業界を中心に活発な設備投資が行われた。
- ・米国のサブプライムローン問題に端を発する金融不安を抱えていた。

② 中国が高い経済成長を示す

- ・わが国の輸出相手国のトップとなった。
- ・北京オリンピック特需や貿易黒字の拡大が見られた。

③ 年後半、国内外の景気は急速に減速

- ・米国の大手金融機関の経営破綻から、世界的な金融危機に陥った。
- ・企業収益が大幅に悪化、順調だった設備投資も急転凍結された。

2008年12月期業績の概要(2)

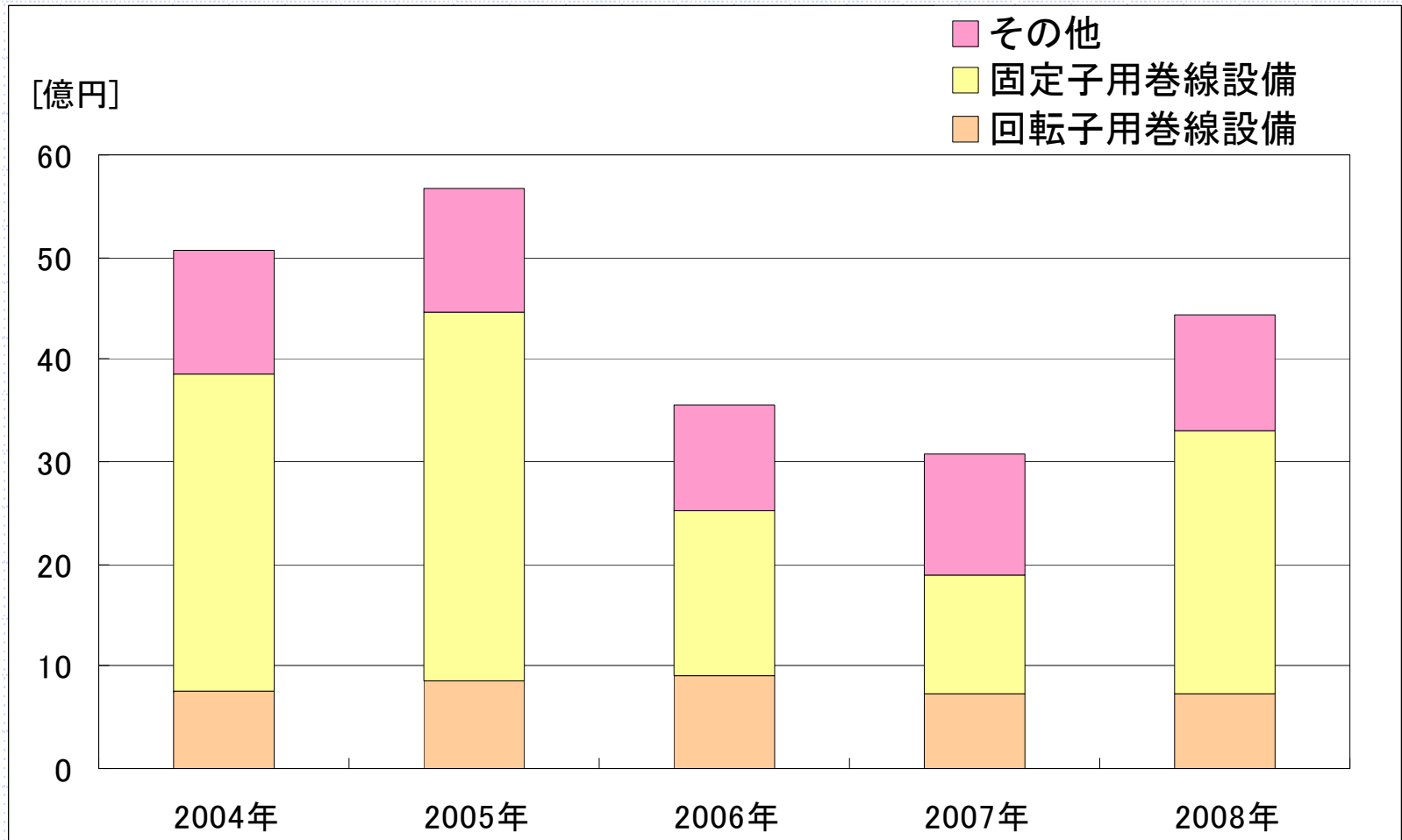
<ODAWARAグループの活動>

- ① モーター製造業界の設備投資動向に沿った製品を提供
- ② 懸命な営業活動を展開
- ③ 更なる技術開発とコストダウンに努めた
- ④ お客さまの生産効率の向上に寄与する製品を開発
 - ・生産性を更に向上させたハイブリッドカー用モーターの高速自動巻線システム
 - ・産業用モーターの全自動巻線システム
- ⑤ 連結業績の概要
 - ・年後半までの受注獲得が順調であったため、売上高は4,444百万円(前期比44.0%増)となった。
 - ・原価低減などにより原価率が改善した。
 - ・海外投資先からの受取配当金104百万円、土地の減損損失115百万円を計上した。
 - ・経常利益は761百万円(前期比136.2%増)、当期純利益は339百万円(前期比93.6%増)となった。

経営指標等の推移(連結)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
売上高 (百万円)	5,076	5,681	3,560	3,086	4,444
経常利益 (百万円)	573	873	265	322	761
当期純利益 (百万円)	76	396	305	175	339
純資産額 (百万円)	6,571	6,889	6,856	6,956	7,150
総資産額 (百万円)	8,892	8,701	7,889	8,479	8,857
1株当たり純資産 (円)	1,039	1,088	1,162	1,180	1,213
1株当たり当期純利益 (円)	11.15	59.97	49.45	29.71	57.57
売上高経常利益率 (%)	11.3	15.4	7.5	10.4	17.1

製品別売上高推移(連結)



業績推移(連結)

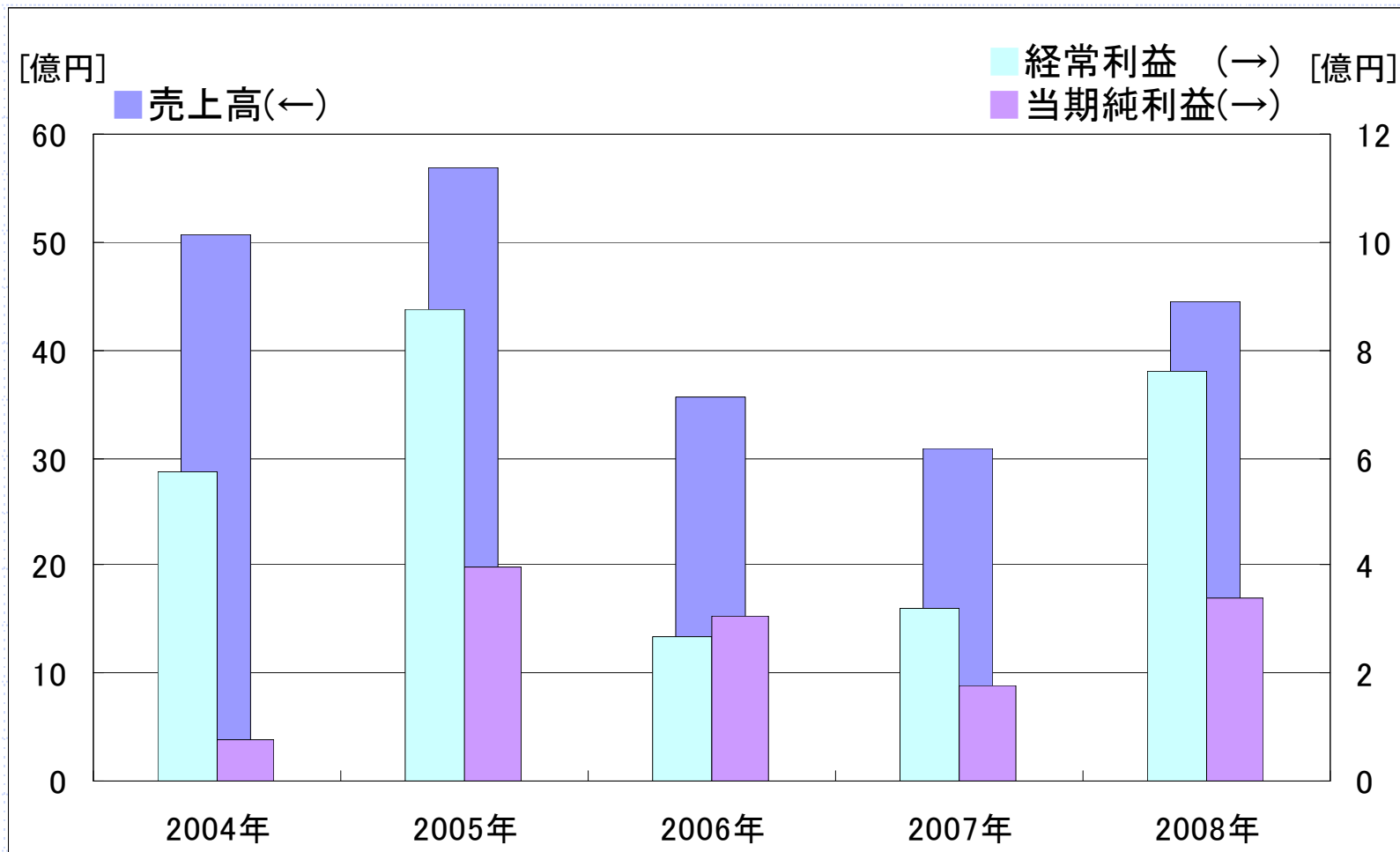
2004年：土地の減損損失2.25億円を計上

2005年：設備投資が好調に推移

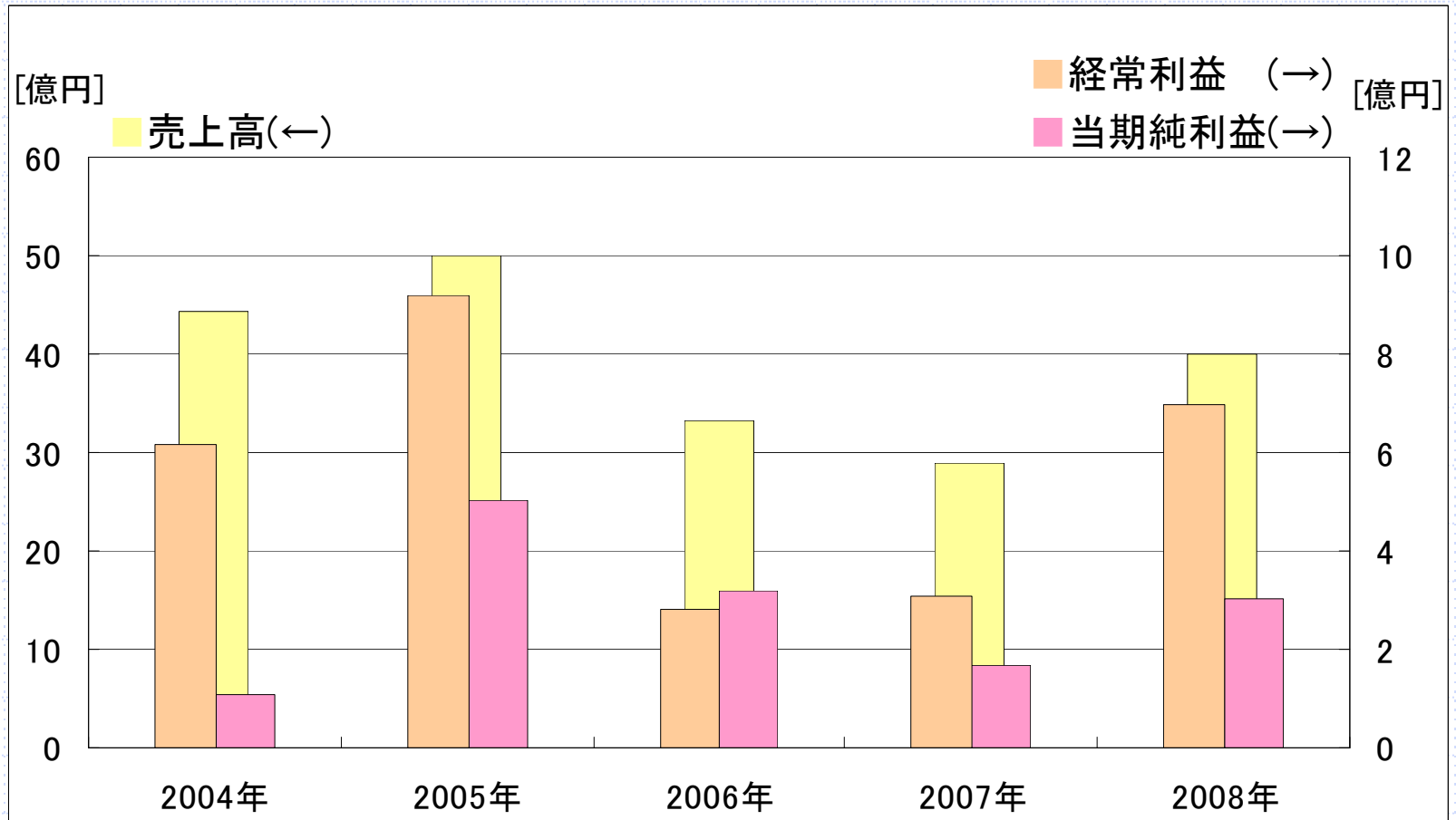
2006年：前年の反動で、設備投資鈍化の影響

2007年：前年に続き上半期までの営業成績が低調

2008年：年後半までの受注獲得が順調、原価率が改善

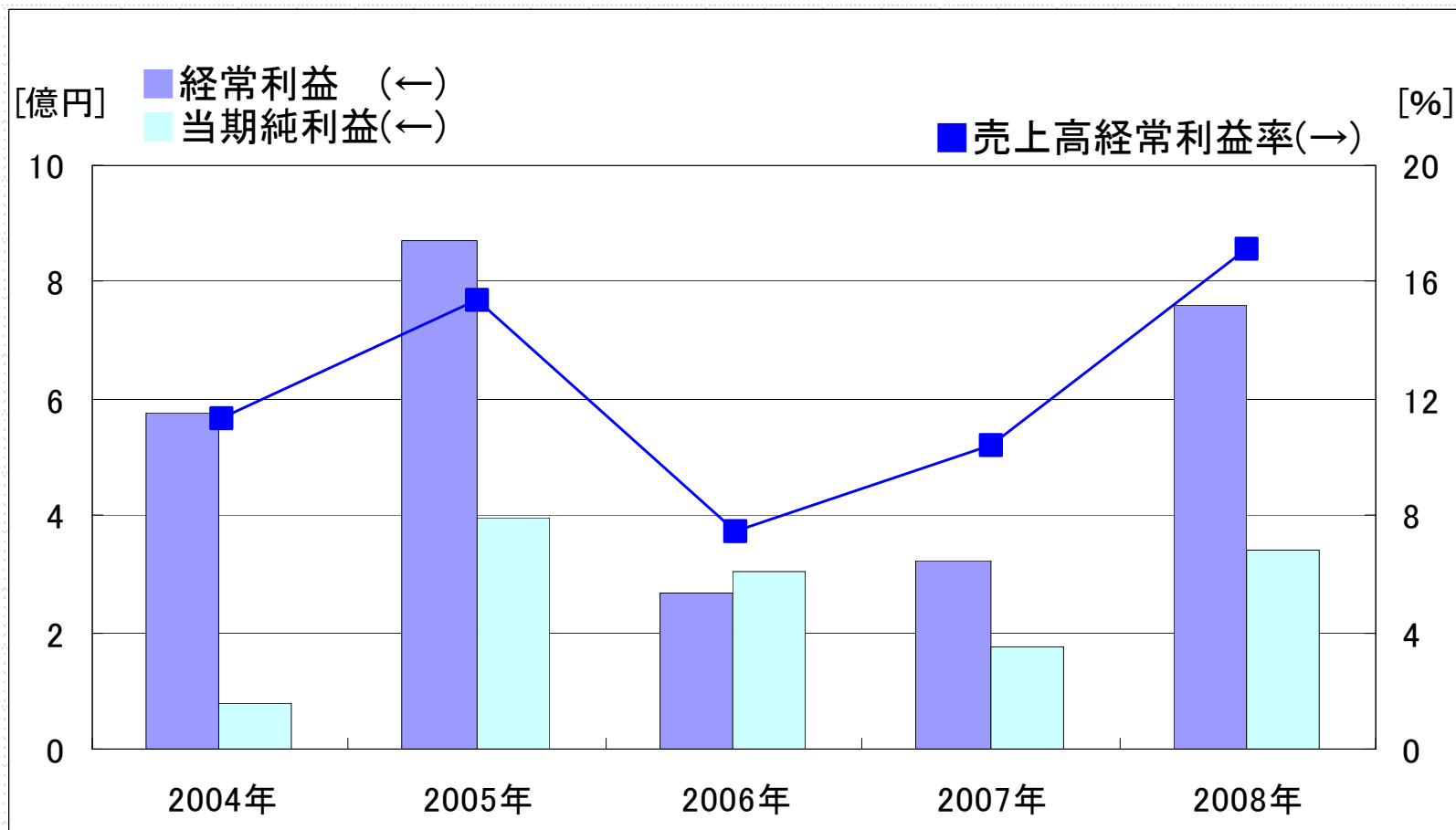


業績推移(単独)

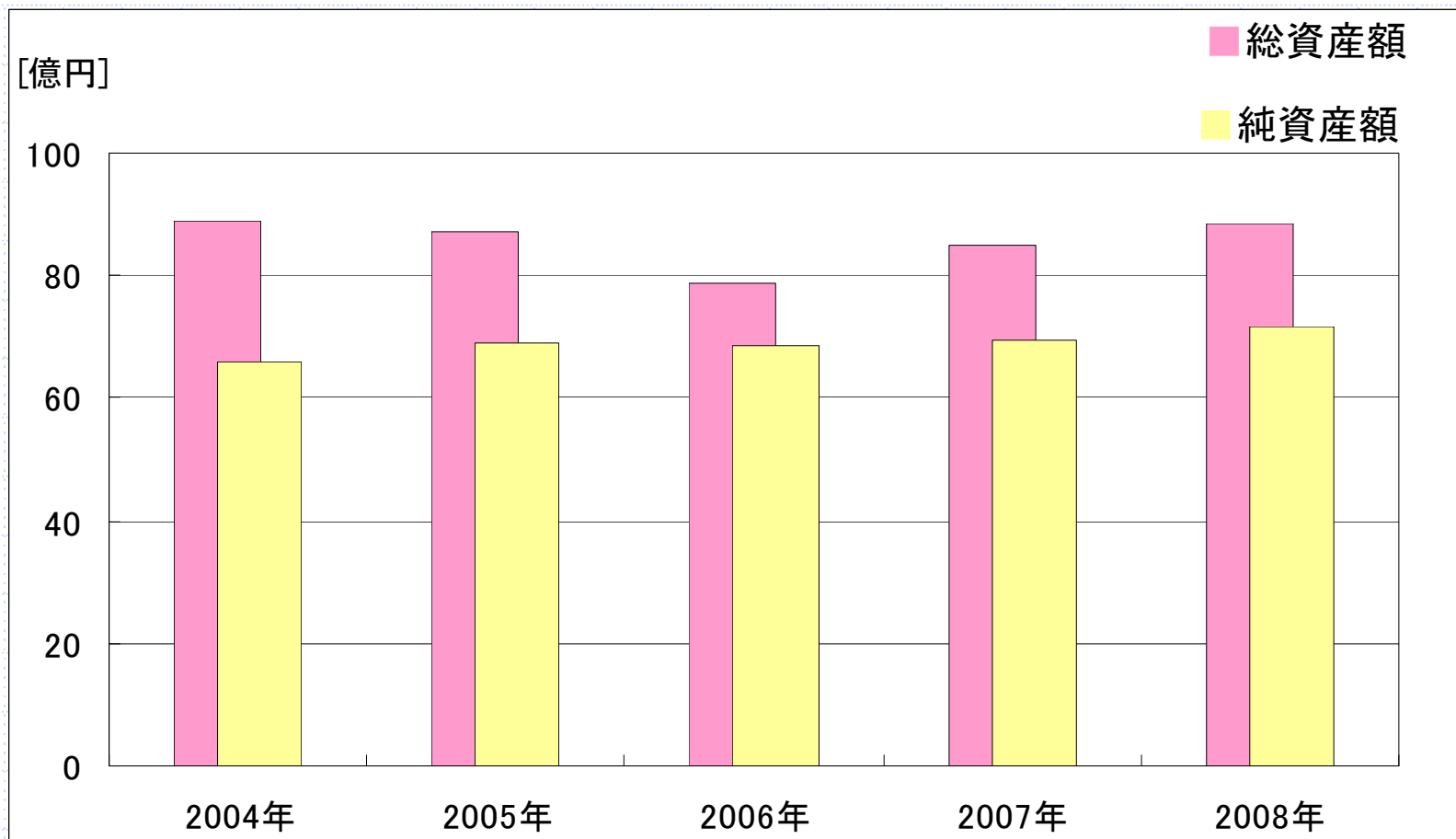


經常利益・当期純利益

・売上高經常利益率(連結)

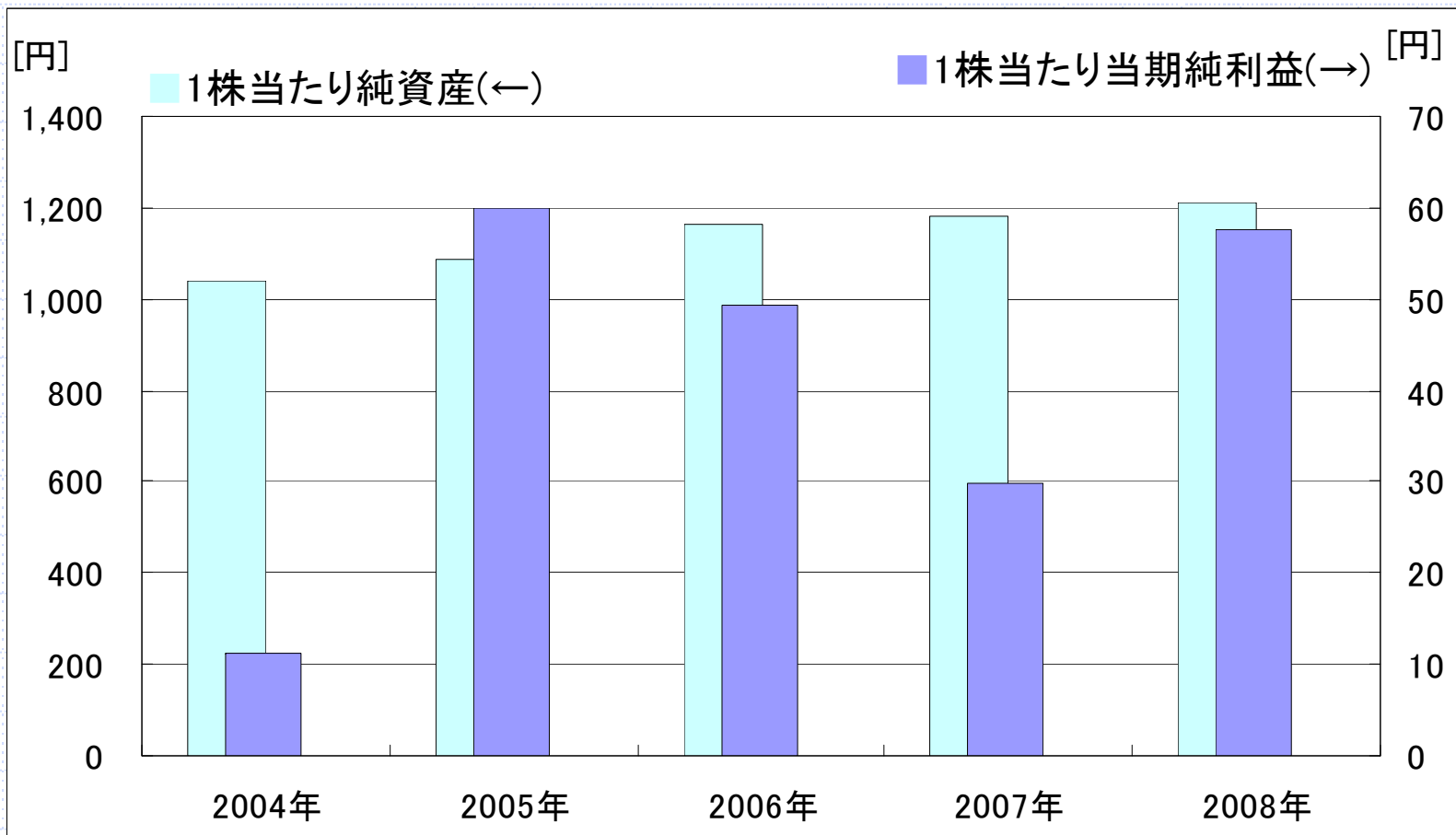


総資産額・純資産額(連結)

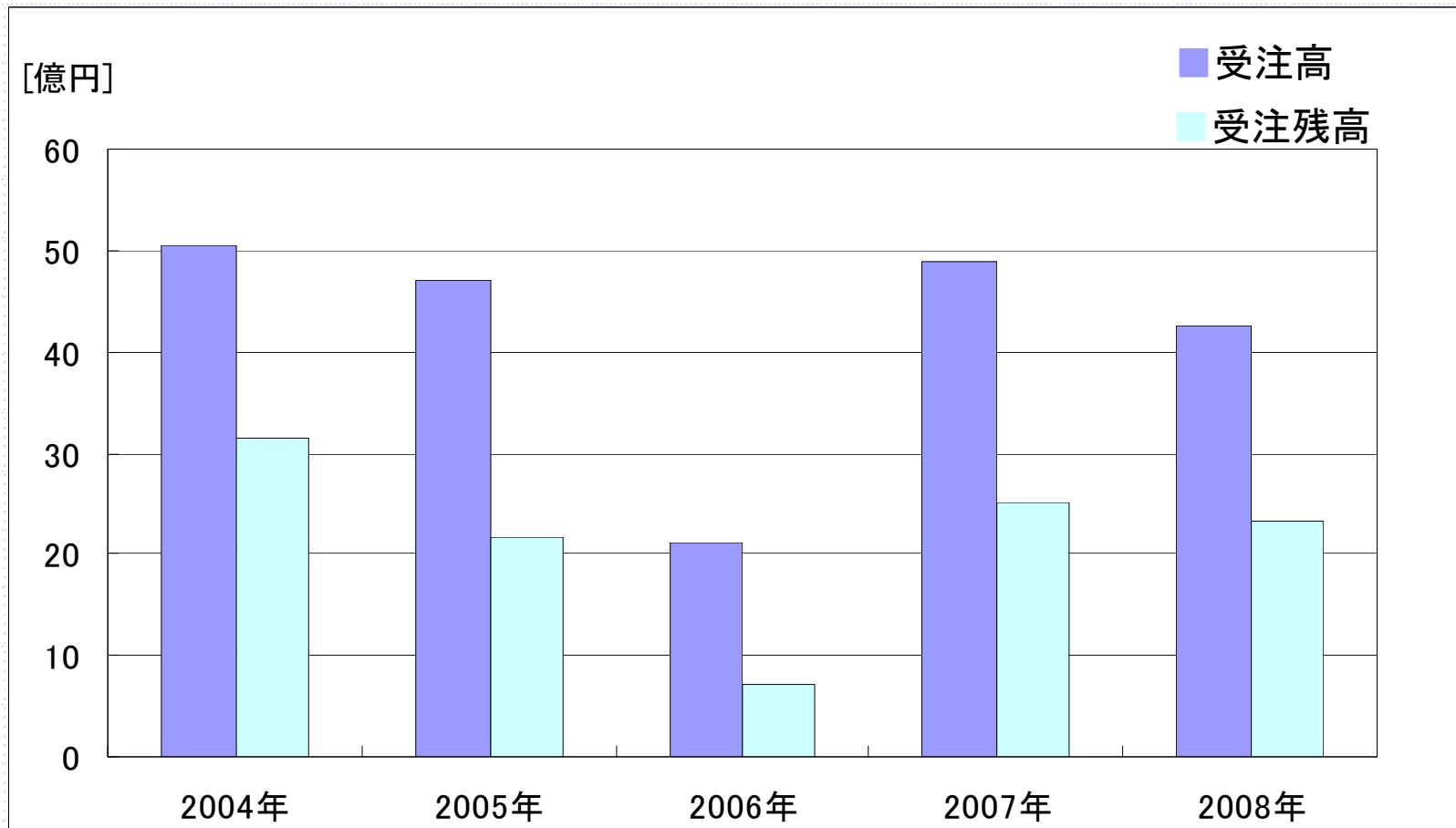


1株当たり純資産額

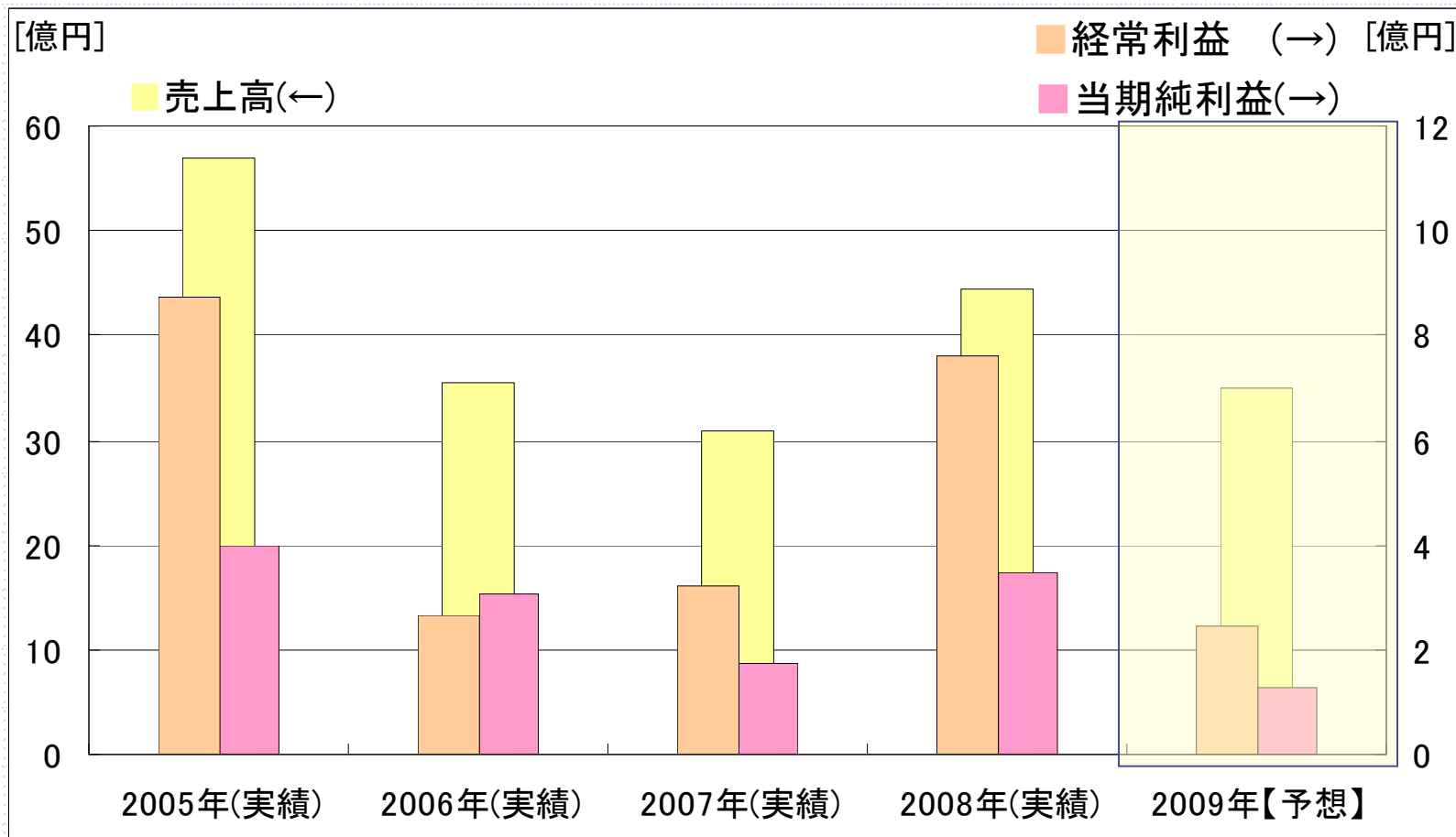
・ 1株当たり当期純利益(連結)



受注動向(連結)



業績予想(連結)



決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実施の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社小田原エンジニアリング